

おやじのちから

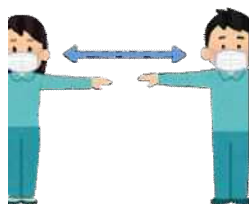
今年度活動テーマ 広げよう！おやじの絆

新型コロナウイルスの感染拡大により、学校・幼稚園においても、3月中旬から休業に入り、卒業式、入学式の短縮や学習の進度など、教育活動も大きな影響を受けています。

6月から教育活動は再開されましたが、京都市においても連日、コロナ感染が確認されています。このような中、子どもたちが充実した学校・幼稚園生活を送ることができるよう、

「新しい生活スタイル」を実践し、コロナ感染防止に努めましょう！

① 身体的距離の確保



② マスクの着用



③ 手洗い



京都「おやじの会」連絡会では！



京都「おやじの会」連絡会は、昨年度に引き続き、会長は清水 友秀氏、副会長は城戸 俊明氏、武山 真士氏、中村 信氏が務めることになりました。

このコロナ禍のもと、様々な活動が制限されるなか、京都「おやじの会」連絡会役員会（会長・副会長）では、オンラインによる会議を開催し、今年度の活動について意見交換を行いました。

緊急事態宣言の解除、学校・幼稚園の再開を受け、6月には集合して役員会、また全体での連絡会を開催しました。



京都「おやじの会」連絡会役員会の様子



おやじの会活動の紹介



コロナ禍の影響のもと、学校・幼稚園の再開後も、教職員の皆様には教育活動に大変なご苦勞をいただいています。

このような状況のなか、新型コロナウイルス感染拡大には十分留意のうえ、学校・地域に寄り添った活動も求められます。

勸修小学校「おやじの会」では、学校の教育活動を支える活動に取り組むとともに、新型コロナウイルス感染拡大に配慮し、例年の取組に工夫を凝らした新しい取組を実践されています。

勸修小 「おやじの会」の取組の紹介

- ・マスクを回収し学校に寄付しました



学区内のスーパー3か所に回収箱を置いて、不要なマスクの寄贈を募りました。7月末時点で600枚に近いマスクが集まりました。

回収は、8月末まで行われ、学校に送られます。学校からも「今後も備えは必要なため、ありがたい」との声がありました。

- ・リモートお化け屋敷の配信

新型コロナウイルスの影響により例年の行事を中止せざるを得ない中、子どもたちに、一つでも楽しい思い出をという気持ちから、京都橘大学の学生の協力を得て、勸修小学校を使ったお化け屋敷を撮影しました。臨場感たっぷりのお化け屋敷の模様を、動画投稿サイト「ユーチューブ」で配信していますので、ぜひご覧ください。



※勸修小「おやじの会」の他にも、各校園おやじの会では、コロナ禍のもと、子どもたちのために様々な活動に取り組んでいただいております。次号で、その一端をご紹介します。

すべては子どもたちのため。「おやじの絆」でコロナ禍を乗り越えていきましょう

おやじのちから

今年度活動テーマ 広げよう！おやじの絆

短い夏休みも終わり、学校・幼稚園に子どもたちの声が響いています。しかし、今年は、新型コロナウイルスの感染拡大により、いつもの夏と大きく違っていました。

また、2学期においても、学校行事等でコロナ感染対策のもと、規模の変更や縮小が予定されています。

「新しい生活スタイル」を実践し、コロナ感染防止に努めながら、子どもを中心に見据え、学校・地域に寄り添った活動を進めていきたいと考えています。



おやじの会活動の紹介



新型コロナウイルス感染拡大に配慮し、夏休み中に、子どもや学校を支える取組が実践されました。

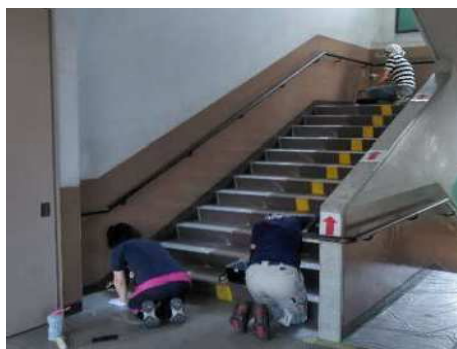
校舎内ペンキ塗り替え 柘野小おやじの会

美しい環境の中で、学習活動が進められるようにとの願いのもと、「ペンキの塗り替え」に挑戦しました。同じ姿勢での作業は、ちょっぴりつらいものがありましたが、塗り終えた壁や階段をみると、嬉しく感じました。

美しくなった廊下や壁、階段をみた子どもたちの反応が楽しみです。



before (ビフォー)



after (アフター)



校庭の樹木の剪定

嵯峨小おやじの会



学校閉鎖期間におやじの会やPTAが中心となって、樹木の剪定を行いました。嵯峨小学校は、多くの樹木に囲まれているため、皆さん汗びっしょりになったの活動でした。

学校環境向上のための取組、大変ご苦労様でした。



新型コロナウイルス感染症を踏まえたおやじの会の取組について

標記の取組について、お尋ねしたところ具体的な取り組み内容の報告をいただきました。その中からいくつかをご紹介します。

各校のおやじの会におかれましては、今後の参考にしていただければ幸いです。

なお、計画段階のものもありますのでご了解ください。

大宮小・・・クリーン作戦に参加。校舎の清掃や消毒作業。



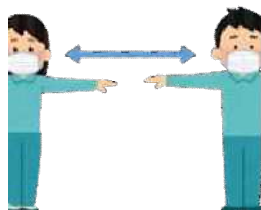
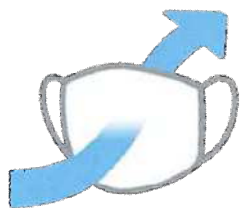
山ノ内小・・・手洗いの栓を回すものから、レバー式のタイプに交換する。

新林小・・・「親子草引き」に参加協力する。

朱雀第三小・・・ビオトープの清掃活動。



「新しい生活スタイル」を実践しましょう。



すべては子どもたちのため。「おやじの絆」でコロナ禍を乗り越えていきましょう！

おやじのちから

今年度活動テーマ 広げよう！おやじの絆

令和2年も押し詰まってまいりましたが、皆様、いかがお過ごしでしょうか。御承知のとおり、現在、新型コロナウイルス感染者が増加傾向にあり、京都市でも11月17日～年末までを、「コロナ感染防止徹底月間（第2弾）」として取り組んでいるところです。

京都「おやじの会」連絡会では、「新しい生活スタイル」を実践し、感染防止に努めながら、子どもを中心に、学校・地域に寄り添った活動を進めていきたいと考え、情報交流・情報発信を進めてまいりました。



おやじの会活動の紹介



新型コロナウイルス感染拡大防止に配慮した子どもや学校を支える取組を紹介します。

清掃活動

仁和小おやじの会

「美しい環境の中で、気持ちよく学習活動が進められるように」

との願いのもと、9月26日に、運動場の側溝の砂を除いたり、総合遊具や「ゆめの森(仁和小ビオトープ)」の周りの雑草を抜いたりしました。

『仁和スポーツフェスティバル20

20』の開催に向けて、そして、毎日子どもたちが安全に運動場で活動できるようにとの思いを込めて清掃活動に取り組みました。

また、11月28日には、「ゆめの森」の清掃活動を行いました。「ゆめの森」は、落ち葉でいっぱいでしたが、参加者全員で落ち葉を集め、すみずみまできれいに掃き、とても美しくなりました。おやじの会の行動力を感じました。



グラウンドの草抜き 京都京北小中学校おやじの会

令和2年4月に開校した「京都京北小中学校」では、「京都京北小中学校おやじの会」を立ち上げ、子どもたちの教育活動の支援を行うことを話し合いました。コロナ禍の中、活動が制限されていましたが、10月8日に、「京都京北小中学校」として初めて開催される運動会・体育祭に向けて、前日の10月7日に、グラウンドの草抜きを行いました。農業や、林業をされておられる方も多い京北では、草抜きはお手の物です。きれいに整地されたグラウンドで、子どもたちは思いっきり汗を流すことができました。



新ハロウィンフェスティバル 紫野小おやじの会

10月31日（土）に、「地域と子どもたちに笑顔と元気を！」という地域の皆様の熱い思いのもと、「新ハロウィンフェスティバル」が開催されました。当日は、快晴の秋空の下で、おやじの会としても、会場設営や案内、手指消毒など、協力させていただきました。

開始時刻の12時には、思い思いに仮装した老若男女が集いました。マスク着用や検温、手指消毒はもちろんのこと、会場内の人数確認や模擬店の間隔、お店に並ぶ列のスペースの十分な確保など、三密を避ける対策が講じられました。

また、模擬店での食べ物・飲物はテイクアウトで、ソーシャルディスタンスを実践した子どもは景品がもらえるなど、コロナ予防のための様々な工夫を凝らして行われました。

子どもたちは、模擬店やブースでの催しをしっかりと楽しんでいました。そして、たくさんの笑顔と元気な姿が見られました。



すべては子どもたちのため。「おやじの絆」でコロナ禍を乗り越えていきましょう！

おやじのちから

今年度活動テーマ 広げよう！おやじの絆

明けましておめでとうございます。

平素は、「おやじの会」の取組にご理解、ご支援をいただきありがとうございます。
今年もどうぞよろしくお祈りいたします。

さて、今年は新型コロナウイルス感染のため、いつもとちがう年始年末を過ごされたと思います。1月13日に緊急事態宣言が出されました。より一層の感染防止が叫ばれます。

京都「おやじの会」連絡会では、「新しい生活スタイル」を実践し、感染防止に努めながら、子どもを中心に、学校・地域に寄り添った活動を進めていきたいと考え、情報交流・情報発信を進めてまいりました。



おやじの会活動の紹介



新型コロナウイルス感染拡大防止に配慮した子どもや学校を支える取組を紹介します。

11月11日 祥栄の森の清掃活動 祥栄小おやじの会



5年生の「総合的な学習」は、「祥栄の森」について考え、そ



の整備を進めてきました。

しかし、森の中にある池の清掃作業は子ども達のみでは難しく、困っていました。そこで、おやじたちの出番です。祥栄おやじの会が中心となって、保護者、教職員と池を美しくしました。少しずつ変わっていく、「祥栄の森」をぜひご覧ください。



12月12日 大宮クリーン作戦 大宮小おやじの会

新しい年を美しい校舎で迎えようと、おやじの会が中心になって、「大宮クリーン作戦」を行いました。普段なかなかできない廊下すみ



ずみまでのモップ掛けをしました。おやじのちからで、学校がぴっかぴかになりました。



12月12日 ランチガーデンリフレッシュ事業 二条城北小おやじの会



今年度は、コロナ禍の関係で子どもたちは密にならないように対面を避け給食を食べています。また、子どもたちが楽しみにしている活動も制限がかかっています。



そこで、外の開放的な空間で、少しでも楽しい雰囲気味わわせてやれないかと、学校運営協議会で話し合い、PTAやおやじの会のご協力を得て、「ランチガーデンリフレッシュ作業」を企画しました。ランチガーデンリフレッシュを中心とした、校内整備作業です。

完成したベンチをみて、大人も使いたいという声が聞かれました。

12月13日 大將軍ふれあいまつり 大將軍おやじ・おふくろの会

例年とは形式を変え、コロナ感染対策を十分に行って、「大將軍まつり」が開催されま



した。6年生は、防災教室というブースを担当し、「総合的な学習」で学んだ震災への備えについてパンフレットや手作りスリッパ



を配布したり、その場で手作りマスクの作り方を教えたりするなど、いきいきと活動する姿が見られました。また、各種団体もいろいろなブースを担当しました。その中で、「大將軍おやじおふくろの会」は、「子どもたちに笑顔」を、合言葉に人形すくいブースを受け持ちました。

すべては子どもたちのため。「おやじの絆」でコロナ禍を乗り越えていきましょう！

おやじのちから

今年度活動テーマ 広げよう！おやじの絆

平素は、「おやじの会」の取組にご理解、ご協力を賜りありがとうございます。

今年度は、新型コロナウイルス感染拡大防止の観点から、予定されていた活動が制限されたり、中止されたりしていたのではないのでしょうか。そのような中、各校園の「おやじの会」では、今年度の活動を振り返るとともに、次年度に向けて子どもと学校を中心に据えた活動を検討いただいているものと思います。今後とも、よろしくお願いいたします。

京都市はぐくみ憲章実践推進者表彰 はぐくみアクション賞 受賞！！ 勧修おやじの会



勧修おやじの会「マーロウ」から
布マスクを寄附

社会の宝である子どもを健やかで心豊かに育むための市民共通の行動規範である「京都市はぐくみ憲章」。その実践の輪を広げるため、京都市では、先進的に特色ある活動に取り組んでおられる方を毎年表彰しています。

令和2年度「憲章実践推進者」として、「勧修おやじの会」が「はぐくみアクション賞」を受賞されました。小学校への布マスクの寄附やリモートお化け屋敷等、コロナ禍のなかで工夫を凝らした活動が評価されました。



表彰式後の記念撮影
門川市長と中本会長

2/15(月)~19(金)元気な子どもの絵画展 北区「おやじ・おふくろの会」連絡会

今年で5回目の開催となる北区「おやじ・おふくろの会」連絡会主催の「元気な子どもの絵画展」<協力：北区役所・京都グレースライオンズクラブ>。今年も北区の小学校（14校）から、児童の力作が展示されました。どの作品も、個性的で、ほのぼのとしたあたたかさを感じました。



絵画展の前日準備



左から武田北区長、谷口会長
佐渡首席社会教育主事

プレハブ小屋の撤去作業 神川小おやじの会



神川小学校の地域では、過去の桂川の氾濫による浸水の経験から、地域で協力して避難訓練を行ったり、避難所としての物資を確保したりして、いつ起こるかもしれない災害に備えています。

そのような中、新しい防災倉庫の設置が計画され、現在のプレハブ小屋（床が抜けている等、物資の保管には適していない状況）を撤去することとなりました。

そこで、「おやじの会」の出番です。古い小屋は、みるみるうちに解体され、きれいな更地になりました。



3/13(土) 正親ミッション X 正親おやじの会



黒ずくめのおやじの会ハンターたち

新型コロナウイルス感染拡大防止の観点から、延期が続いていた、地域・PTA・おやじの会合同の企画「正親ミッション X」が開催されました。子どもたちは、5つのグループに分かれて、それぞれミッションを解いていきます。しかし、黒ずくめのハンターが邪魔をします。ハンターに気づかれないように、全てのミッションをクリアした子どもたちは、笑顔いっぱい体育館に戻ってきました。

林上京区長も応援に駆けつけていただきました。

